

ISO/TC 211第49回大宮総会

1. ISO/TC 211第49回総会について

国際標準化機構 (ISO : International Organization for Standardization) の地理情報・地理情報学 (Geographic information/Geomatics) 分野を担う第211専門委員会 (TC 211) の第49回総会が、2019年12月9日 (月) から同13日 (金) にかけて、大宮ソニックシティ (さいたま市大宮区) で開催された。1999年の京都市、2008年のつくば市に次いで、日本では3回目となったこの総会は、21か国約100名の参加を得て成功裏に終了した。開催運営に、ご支援、ご協力をいただきました関係各位に心より御礼申し上げます。

(公財) 日本測量調査技術協会 (以下「測技協」「当協会」) は、1995年に日本産業標準調査会 (JISC、当時は日本工業標準調査会) からISO/TC 211国内審議団体の認定を受け、TC 211の公式メンバーであるJISCに代わって国内委員会の開催や総会参加者への支援を行っている。毎年2回の総会の運営事務は参加各国持ち回りで行われ、この大宮総会では日本の国内審議団体として測技協が実質的に担った。



写真1 大宮総会参加者の集合写真 (ISO/TC 211公式 Web サイトに掲載)



図1 会場や大宮駅等に掲示したポスター

2. 第49回総会 (大宮) の開催

ISO/TC 211第49回総会 (大宮) の概要は、次のとおりである。

会議名 : ISO/TC 211 49th Plenary meeting week in Omiya, Japan

開催期間 : 2019年12月9日 (月) ~ 13日 (金)

開催場所 : 大宮ソニックシティ (さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

開催日程 : (表1のとおり)

主催 : ISO/TC 211本部事務局 (スウェーデン)、

国内主催 : 経済産業省 / 日本産業標準調査会 (JISC)

公益財団法人日本測量調査技術協会 / TC 211国内委員会事務局

会議の公式名の一部を直訳すると「第49回総会週」。週前半は各プロジェクト (PT) や作業グループ (WG) がそれぞれの会議室に分かれて事前会合が行われ、後半2日間 (実質1日半) に狭義の「総会」(Plenary) が行われた。

PTは、ISO19100シリーズ国際規格群のうち新規公開または改訂に向けて審議中の規格案毎に開かれる (写真2)。WGは関係機関との連携など討議すべき課題毎に開かれた。大宮総会では、16の規格案・改定案について討議された。



写真2 803号室におけるPT (12月10日)

表1 ISO/TC 211第49回総会（大宮）の全体日程

日 程	時間帯	会議・行事
12月9日(月)	09:00～17:00	ワーキングG、プロジェクトT
	15:00～17:00	(測技協 第40回理事会) ※
	18:00～20:00	オープニングレセプション ※
12月10日(火)	09:00～17:00	ワーキングG、プロジェクトT
	18:00～20:30	(オプショナルウォーク) ※
12月11日(水)	09:00～17:00	ワーキングG、プロジェクトT
	11:00～17:00	★Workshop "Standards in Action"
	19:00～21:00	ガラディナー
12月12日(木)	09:00～17:00	TC 211総会
	12:50～17:15	(TC 211総会開催記念セミナー 2019in大宮) ※
12月13日(金)	09:00～12:00	TC 211総会

括弧内はTC 211公式外行事、※は測技協主催行事、★はオープンセッション



写真3 PlenaryにおけるOGCとの連携に関する報告



写真4 Plenaryにおける決議文書の検討



写真5 講習試験委員の山田啓二氏（国際航業）による、S-GI-Cert 地理情報標準認定資格の紹介講演

表2 Workshop "Standards in Action" の議事次第

時間帯	演題	講演者
11:00～11:10	Welcome	
11:10～11:35	Promoting the introduction of standardization technology into public surveying projects and educational activities in Japan through an education and certification program: S-GI-Cert (Certification of Professionals in Standards for Geographic Information)	Mr. Keiji YAMADA, Japan
11:35～12:00	Introduction of geographic information and statistical standards for surveying data quality	Mr. Shigeru MATSUZAKA, Japan
12:00～12:25	Korean address assignment scheme of AOT (Address of things)	Dr. Suchul Kang, Korea
12:30～13:30	Linch break	
13:30～13:55	Data standardization activity for urban revitalization in Japan	Dr. Kentaro AKAHOSHI, Japan Ms. Chikako KUROKAWA, Japan
14:00～14:25	How to measure the status and the progress in the awareness of GI standards in action?	Dr. Eunmi Chang, University of Seoul, Korea
14:30～14:55	Calibration and Validation of Air-borne Multispectral Imaging Sensors: State of the art and Standardization Requirements	Prof. Liu Chun, China
15:00～15:30	Coffee break	
15:30～15:55	Entire Global Space 3D Grids and Application for Low Altitude Airspace Management.	Dr. Qu Tengmeng, China
15:55～16:20	Emerging technology-DGGS	Robert Gibb, New Zealand
16:20～16:45	Manchester City Model: an OGC standard approach: Theme: The geo-domain vs neighboring domains.	Claus Nagel, Germany
16:45～16:50	Wrap up and end	

RoomNo.	12/9 (MON)													
	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
403・404														
801														
802			WG 4	c o f f e e b r e a k	19105	L U N C H	19105	c o f f e e b r e a k	19105					
803			AG 11		WG 7		19150-1		19150-1					
804			6709		6709		WG 9		19156					
805					19148		19166		WG 10					
806			19115-2		19130-3		19163-2		19124-1					
807														

RoomNo.	12/10 (TUE)													
	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
403・404						setup								
801														
802			19123-1	c o f f e e b r e a k	WG 6	L U N C H	19159-4	c o f f e e b r e a k	19123-1					
803			JWG11		19170-1		TC 211 - OGC JAG		TC 211 - OGC JAG					
804			AG1(Outreach)		AG13(Improve engagement)									
805			19160-2		19160-2		19160-2		19160-2					
806			19131		19131				19157-1					
807			19152		19152		19152		19152					

図2 ISO/TC 211第49回総会週前半におけるWGやPT一覧

Plenaryでは、ISO/TC 211議長でスウェーデン土地局のAgneta Engberg氏による進行のもと、PTやWGの各会合の結果を持ち寄り報告し(写真3)、これに基づいて総会決議(Resolution)の事務局案が示され、出席者全員の討議により文案が推敲され、合意に達したところで採択された。

総会の出席者は、地理空間情報や標準化に関わる専門家からなるISO/TC 211参加各国の代表団(Delegation)に限られ、会議自体は基本的に非公開である。

総会週中間の水曜(今回は12月11日)に、公開セッションとしてセミナー“Standards in Action”を催し、各国の標準化への取り組みが紹介された。今回は、「開催国枠」とでもいうべき意義で、日本の専門家による講演が複数行われた(表2)。

3. 次回の総会

ISO/TC 211の次回(第50回)総会は、2020年6月にフィンランド国ヘルシンキで開催される。同国規格協会のJari Reini氏によるヘルシンキ総会の会場施設等についての紹介講演がPlenary1日目の終了後、同じ会場で行われた。また、第52回総会をスペイン国で、第54回総会をオーストリア国ウィーンで開催することが併せて決議された。



写真6 Jari Reini 氏による次期ヘルシンキ総会についての講演

4. 地域セミナーの併催

(公財)日本測量調査技術協会は、毎年秋～初冬の時季、首都圏以外の場所で、先端的な測量調査技術の普及と活用を目的に地域名を冠した「地理空間計測・活用技術セミナー」を開催している。

最近では、福岡市(2016年)、仙台市(2017年)、金沢市(2018年)と続いていたが、2019年は、ISO/TC 211第49回総会の開催を記念して、さいたま市大宮区の同じ会場で、12月12日午後「TC 211総会開催記念セミナー 2019 in 大宮」と題して、第49回総会のPlenaryと並行して開催した。

会員から募集した技術情報セミナー4件をはさんで、開催地にちなんだ「地域活性化ワークショップとして」埼玉県広報広聴課による埼玉県の魅力発信政策について、後半は「TC 211総会開催記念ワークショップ」として、S-GI-Cert地理情報標準認定資格について、またマルティス株式会社による同社の位置情報サービスについて、特別講演をいただいた。

表3 TC 211 総会開催記念セミナー 2019 in 大宮 プログラム

12:50～12:55	ガイダンス	今井 靖晃	(公財) 日本測量調査技術協会 技術普及部会長(国際航業株式会社)
12:55～13:00	主催者挨拶	津沢 正晴	(公財) 日本測量調査技術協会 理事・事務局長
◆地域活性化ワークショップ			
13:00～14:00	〈特別講演1〉 埼玉県政出前講座 埼玉の魅力を全国に発信!	小林 直樹	埼玉県 広聴広報課 魅力発信担当
◆技術情報セミナー			
14:00～14:20	測位・測量成果への地理情報標準(品質管理) の活用	中根 勝見	アイサンテクノロジー株式会社
14:20～14:40	UAVを用いた3次元計測の現状と公共測量へ の適用	村木 広和	国際航業株式会社
14:40～15:00	クラウドGISによる建物被害認定調査の効率化 最新の地震水害事例	濱本 両太	ESRI ジャパン株式会社
15:00～15:20	韓国における空間情報ビジネスの状況 ー2019日韓空間情報技術フォーラムよりー	畠 周平	アジア航測株式会社
◆TC 211 総会開催記念ワークショップ			
15:30～16:10	地理情報標準と認定資格制度	大伴 真吾	(公財) 日本測量調査技術協会 講習試験委員長(朝日航洋株式会社)
16:10～17:10	〈特別講演2〉 ～その場の価値を最大化する～産業の現場で 活用される位置空間情報技術とその応用事例	那須 俊宗	マルティス株式会社 代表取締役
17:10～17:15	閉会挨拶	斎藤 和也	(公財) 日本測量調査技術協会 専務理事

謝辞

ISO/TC 211第49回総会(大宮)の開催にあり、ISOの公式会員である経済産業省の日本産業標準調査会(JISC)にご指導いただき、産業技術環境局担当審議官の渡邊昇治さまには、ガラディナーにおける主催者挨拶をお願いした。公益財団法人日本測量調査技術協会の会員会社や測量系の公益法人・一般法人からは、会議運営に必要な寄付金・協賛金を提供いただくとともに、一部の社、団体からは総会参加者へ配布する記念品の提供、会期期間中の事務局を支援する方の派遣もいただいた。大宮ソニックシティ利用・誘致推進部誘致推進担当課長の大野順子様、さいたま市観光国際協会の観光事業担当MICE推進グループ主査の大月裕司様には、本格的な国際会議を催すため各種支援や資料情報の提供をいただいた。国土交通省国土地理院参事官の明野和彦様にはガラディナーでの祝辞や全般的なアドバイスをいただいた。同院企画部測量指導課長の矢萩智裕様には第49回総会の日本代表団の団長を務めていただいた。同院地理空間情報部情報普及課長の佐藤壮紀様にはガラディナーの司会進行をお願いした。ISO/TC 211第49回総会(さいたま大宮)実行WGのみなさまには、総会運営の方針策定と実行の両面でご協力いただいた。

以上の方々はじめ、第49回総会にご協力・ご尽力いただいた方々に心より感謝申し上げます。

総会決議

ISO/TC 211第49回決議は、公文書N5249として公開されている。

URL: <https://committee.iso.org/sites/tc211/home/resolutions.html>

《コラム1》 オプショナルウォーク

総会期間中2日目(12月10日)は、「大宮」の由来となった武蔵国一宮氷川神社の大湯祭(だいとうさい)本祭の日だった。この日程は偶然だったが、測技協は、外国からの参加者に日本の祭りを観ていただきたく、その日の公式日程を終えた夕刻に任意参加のオプショナルウォークを企画した。

この大祭は十日市(とおかまち)とも呼ばれ、熊手市や屋台が長い参道沿いに並び大変な賑わいとなる。会員会社から有志スタッフを募り、コーヒープレイク会場の会議室に集合した20名程の外国人参加者を10名近い日本側スタッフで案内し、日没後の雑踏に繰り出した。

氷川神社の長い参道の約3分の1にあたる二の鳥居から拝殿まで、ソニックシティからの移動含め計約4kmの道のりを徒歩で往復した。本殿近くの市では縁起熊手を購入した。プロの売手に導かれながら飾り追加や値切り交渉などひとつひとつ経て飾り札に「ISO/TC 211 APA」と記してもらい、手打ちで締めるまでの遣り取りを間近で体験した。

総会参加者には、氷川神社の立地・歴史、祭神スサノヲの伝説、大湯祭の意義や御利益などを簡略に記した小冊子を配布した。オプショナルウォークは概ね好評を得たが、様々な文化圏から来られた方々に、土着的な祭体験がどう捉えられたか興味深い。

Great Shinto Shrine "Hikawa-Jinja" the festival "Toka-machi" on 10 December

武蔵国一宮 氷川神社

Optional walk in the 49th Plenary week
Gather at Sonic City Room 809 (Coffee Break Venue) around
18:00 on 10 December



© Saitama Tourism and International Relations Bureau
"Toka-machi" is one of the major festivals at "Hikawa-jinja" shrine. The significance of this festival is disaster prevention (ensure safety) and prayer for harvest. On the day of the festival, 10 December, markets handling "Kumade" (rakes) and stalls selling souvenirs or snacks line up along the approach. Worshippers negotiate for purchase "Kumade" rakes, to wish their luck.

《コラム2》 ガラディナーにおける津軽三味線の演奏

第49回総会の公式行事としてのガラディナーは、大宮駅東口から約1kmにあるザ・ロイヤルダイナステイという結婚披露宴向けレストランで催した。忘年会シーズンにつき、総会会場のソニックシティ近傍での本格的会場の確保が困難だったからだ。

ガラディナーでは、津軽三味線の演奏を披露した。奏者は北村姉妹という埼玉県出身のデュオで、姉妹ともに全国大会の団体や個人の部での優勝経験をもつ実力者だ。正統津軽三味線だけでなく、和洋楽器と融合したバンドの活動や、CM出演など幅広く活躍している。

主催者挨拶、返礼、乾杯など公式進行のなかで確保した約20分間の演奏時間で、北村姉妹は3曲披露してくれた。日本の伝統楽器のなかでも強い個性を持ち、かつ現代の楽曲との相性も良い津軽三味線の、可憐な姉妹による迫力ある演奏は、総会参加者に強い印象を与えたようだ。総会最終日、コーヒープレイク会場から津軽三味線のサウンドが聞こえて驚いたが、参加者の1人がガラディナー時の録音を披露し仲間と聴き入っていたのだった。